

平成29年10月25日発行

町民と議会を結ぶ広報誌

太子町議会だより

No
184

和のまち



少林寺拳法
「つよさ、やさしさ、かしこさを胸に」
太子町民体育大会にて

平成28年度に行った事業の総点検 P2 ～ 3
～決算委員会～

本会議等で手話通訳が
利用できるようになりました P6

どないなっとな!?どないするん? P8 ～12
～一般質問～



太子町議会だより
マスコットキャラクター
たいしん

決算委員会 平成28年度に行った事業の総点検

7人の委員で3日間にわたり審査

○国・県補助金並びに自主財源となる広告

○収入率の向上を図るため、納税者の実態を把握し、収入未済と不納欠損の抑制に努めるとともに、債権管理条例を速やかに制定し、納税及び滞納処理等の適正な業務を行うこと。

【歳入について】

○単式簿記での決算では、誤解が生じやすいので、複式簿記への切り替えを早急にすること。

【全般について】

審査意見(抜粋)

平成28年度一般会計決算を審査する「決算委員会」を設置し、9月11日～13日までの3日間、慎重に審査を行った。以下の審査意見を付して賛成多数で認定すべきものと決し、本会議に報告した。

委員会審査

○「広報たいし」については、内容により予

○「広報たいし」については、内容により予

【歳出について】

○補助金を支出している団体・協議会等については、参加しやすくなるよう広報活動に努めること。

【歳入について】

収入等の確保に努めること。

共通事項

○契約(印刷製本費・保険料)等の発注は安易に特命随意契約とせず、複数業者での比較検討を基本とすること。

算を精査しながら、カラーページの増刷を検討すること。

○各種健診の受診率を高め、早期発見、早期治療に努めること。

○掛龍保健衛生施設事務組合に対し、太子町独自の計画設計を立て業務の効率化、コスト削減に向けた

【衛生費】

○民生委員の業務量の適正化を図るとともに、国・県の動向を精査しながら活動補助の増加を考えること。

【民生費】

○嘱託・パート保育士を早急に確保し、支障がないよう努めること。

【民生費】

○職員の資質向上のため、内部研修及び外部派遣研修の充実を図ること。

提案を行うこと。

○水系総合防災訓練を活かし、住民への災害対策訓練・強化に努め、災害認識を徹底すること。

【土木費】

○町道・生活道路(白線・カーブミラー等)及び橋りょうの適正な維持管理と安全対策に努めること。

【土木費】

○中小企業振興に向けたきめ細やかな施策を展開し、地域の活性化につなげること。

【商工費】

○里山林整備事業を促進し、里山の整備に努めること。

【教育費】

○子どもの安心安全のため、幼稚園にも防犯カメラを設置すること。

【教育費】

○学校現場の業務の適正化に向けて、総合型校務支援システムの早期導入、学校給食費の公会計化への準備を着実に進めること。

【教育費】

○学校現場の業務の適正化に向けて、総合型校務支援システムの早期導入、学校給食費の公会計化への準備を着実に進めること。

【教育費】

○学校現場の業務の適正化に向けて、総合型校務支援システムの早期導入、学校給食費の公会計化への準備を着実に進めること。

【教育費】

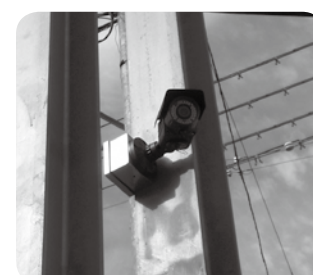
平成28年度決算について、適正に予算が執行されたか、期待した行政効果が得られたか、今後改善を要する点は何かなどに主眼をおいて審査した。活発な意見や多くの質疑があった。



ふるさと納税を活用して学校園に楽器を購入



改修後の斑鳩公民館



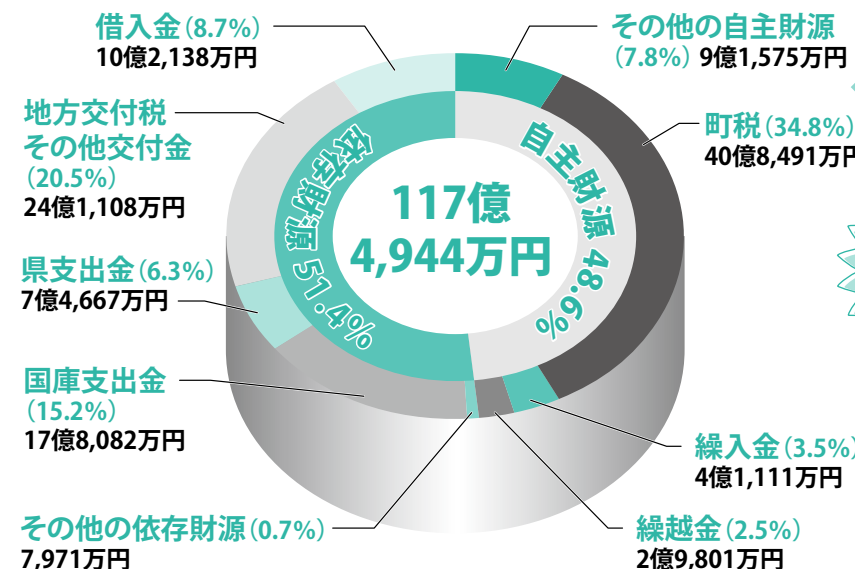
斑鳩小学校防犯カメラ



太子東中学校武道場天井工事

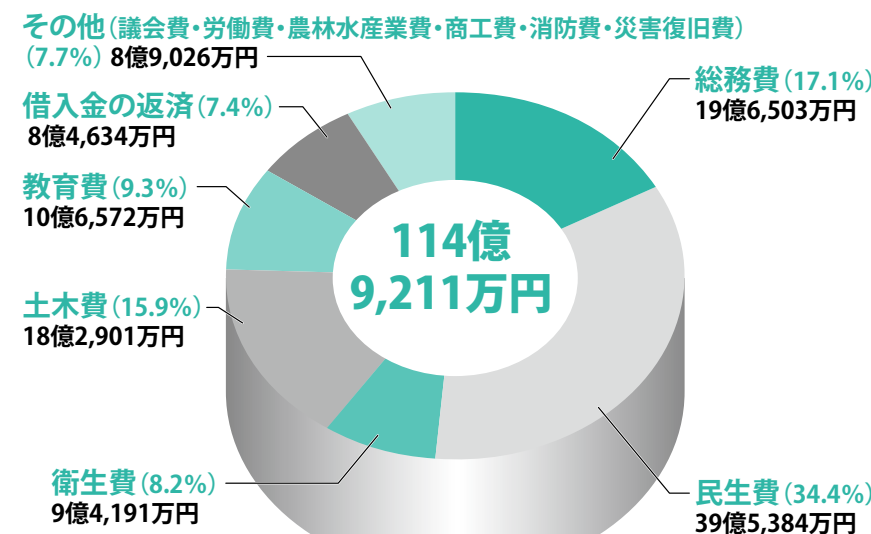
歳入

総額117億4,944万円



歳出

総額114億9,211万円



一般会計の歳入歳出の差引額は2億5,733万円の黒字となり、9,062円を翌年度に繰り越したほか、基金に積み立てた。

決算委員会

委員長 清原 良典
副委員長 平田 孝義
委員 首藤 佳隆
委員 井川 芳昭
委員 福井 輝昭
委員 長谷川 正信
委員 吉田 正之

※審査意見全文は会議録をご覧ください。

一部保育料の値上げ

太子町子どものための教育・保育に関する利用料の負担額等を定める条例の一部を改正する条例の制定

町立幼稚園保育料が国基準額の半額相当額になるよう、子ども・子育て会議で示された方針に基づき平成28年度から平成31年度にかけ段階的に引き上げる保育料の改正。平成30年4月1日から適用される。

●委員会審査P14参照

町立幼稚園利用者負担額表

各月初日の支給認定保護者の属する世帯の階層区分		利用者負担額（月額）	利用者負担額（月額）
階層区分	定義	現行	改正後
4	市町村民税所得割課税額211,200円以下の世帯	8,200円	9,100円
5	市町村民税所得割課税額211,201円以上の世帯	9,500円	11,000円

※平成30年4月分から適用

保険料の減免理由の追加

太子町介護保険条例の一部を改正する条例の制定

介護保険法第63条において、刑事施設等の拘禁者に対しして保険給付等は行わないと規定されていることから、その期間中の保険料を減免対象とするため、条例に「特別の事情があると認められること」との減免事由の項目を追加する改正。

●委員会審査P14参照

くらしの中に
あるに
条例

教育に関する点検と評価の報告

外部評価員の意見(抜粋)

※全文は町ホームページをご覧ください。



学校教育の充実

- 不登校児童生徒への支援事業の拠点として適応指導教室を開設したことは大きな一歩である。今後、家庭から外に出ることさえ難しい児童生徒がこの教室をより活用できるようになるためには、ものづくりや地域の特性を利用した体験型の学習の提供など魅力あるプログラムを作っていく必要があること。また、事務局担当や不登校・生徒指導担当教職員、スクールカウンセラー、別室少人数指導教室指導員等と情報を共有し、総合的な不登校対策を展開していくこと。
- 両中学校において実施した放課後学習充実事業は高く評価できる。教員OB、大学生、地域の教職員免許状保有者などの指導者が、放課後に国語、数学、英語の補充学習を行うことで、生徒に対し確実な学習支援が行えている。より個別化を進め、量から質をめざすには、安定的な人材の確保が重要であること。

社会教育の充実

- 青少年（高校生から若者層の世代）が自主的に社会教育活動に参画する機会を増やすためには、ジュニアリーダー等の受講終了後10年ほどフォローアップを行い、常にリーダーとしての意識付けをするなど、支援体制を充実させること。
- 人権啓発活動は、マンネリ化しており、広報が不足している。メディア等を活用するなど、広報、周知活動の充実を図りたい。また、誰もが、身構えずに学習できる場所と学習機会をつくる必要がある。
- 陸上競技場等は、周辺整備が進み大変よい施設になっている。より、住民が活用できるよう維持管理に努めてもらいたい。
- 図書館の運営については、質が高く評判がよいので、このまま維持されたい。

平成28年度各種会計決算額

会計名	収入	支出	差引額
一般会計	117億4,944万円	114億9,211万円	2億5,733万円
特別会計			
国民健康保険	40億4,398万円	38億9,690万円	1億4,708万円
介護保険	21億9,744万円	21億975万円	8,769万円
後期高齢者医療	3億8,057万円	3億7,160万円	897万円
墓園事業	1,502万円	1,412万円	90万円
下水道事業	21億5,998万円	20億6,588万円	9,410万円
小計	87億9,699万円	84億5,825万円	3億3,874万円
合計	205億4,643万円	199億5,036万円	5億9,607万円

水道事業会計

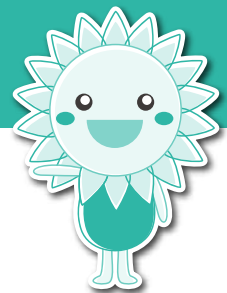
収益的収支※1	5億4,289万円	4億9,332万円	4,957万円
資本的収支※2	1,277万円	2億8,603万円	※3△2億7,326万円

※1 経営活動に伴って発生するすべての収益と費用

※2 建物・施設の建設といった支出の効果が、次年度以降に及ぶものや企業債の元金償還などの費用と収入

※3 不足分は積立金(留保資金)などでカバー(補てん)

太子町の財政は大丈夫？



平成28年度の決算に基づく健全化判断比率の報告を受けた。

財政健全化法の指標

①実質公債費比率…9.9%

地方公共団体の借入金(地方債)の返済額(公債費)の大きさを、その地方公共団体の財政規模に対する割合で表したもの。

②将来負担比率…93.3%

太子町が将来負担する可能性のある負債総額全体から基金などの充当可能な財源を差し引いた額が、標準財政規模の何年分であるかの割合。

結論 28年度の財政運営は健全と判断されるが…

新庁舎建設費用の償還が本格的に始まるのが29年度以降となり、あわせて町施設の建て替えなど今後財政運営は厳しくなるものと予想される。



花谷 勝一氏

太子町文化功労賞に花谷勝一氏がまちづくり審議会で審査され議会で承認を求めた結果、全員賛成により承認された。新年交礼会で表彰予定。

功労者表彰を承認



三浦 淳子氏

教育委員の任命について賛成多数により三浦淳子氏が同意、再任された。任期は平成29年10月1日からの4年間である。

教育委員会の委員の任命に同意

会計別の補正予算金額

会 計 名	補 正 額	補正後の総額	主な内容
一般会計(第2号)	6億5,874万円	118億 822万円	ふるさと応援寄付金謝礼の増額等
国民健康保険特別会計(第1号)	5,248万円	41億1,015万円	療養給付費等国庫負担金の実績精算による償還金の追加等
介護保険特別会計(第1号)	9,977万円	23億9,742万円	介護保険システム改修委託料の追加等
後期高齢者医療特別会計(第1号)	241万円	3億8,797万円	後期高齢者医療広域連合保険料納付金(過年度分)の増額等
下水道事業特別会計(第1号)	528万円	18億9,310万円	前処理場修繕料の増額等
水道事業会計(第1号)	1,265万円	5億6,616万円	退職手当組合負担金等の増額等

一般会計歳出の主な補正

一般会計全体の補正額は約6億6千万円であるが、そのほとんどは職員の異動とふるさと応援寄付金に関するものである。

ふるさと応援寄付

謝礼等の追加

2億3,300万円増額

ふるさと応援寄付金

は8月末現在約6千万円の寄付があった。昨年の例から年末に寄付が集中すると思われる。平成28年は約5億4千万円であったが、今年はさらに増える予想している。また、年末ということもあり、次回12月定例会では間に合わず今回補正した。

内容は、謝礼品代肉、そうめん等が約1億8千万円、その他ふるさと納税のワンストップ納税管理システム委託他5,300万円である。

給食センター実施設計

委託料等

3,200万円追加

新しい給食センター建設のため基本設計後の実施設計、地質調査、用地測量のための委託料の追加である。

乳がん検診シート

90万円追加

水にぬれても破れにくく、自宅風呂場等で乳がんの自己検診をするためのシートで、町内に全戸配布。10月は乳がん撲滅月間であるので、予防啓発も込めで行う。

太田栄橋(旧国道)

橋脚工事

600万円追加

橋台が一カ所所浸食しており、危険であるとの県からの指摘により、保護工事を行うものがあり、河床に堆積している土等を除去する。

下水道事業特別会計

歳出の主な補正

前処理場管理費

450万円追加

機械設備摩耗老朽化等による施設修繕料の増加である。

水道事業会計

剰余金の処分

平成28年度水道事業会計決算で、剰余金が生じた。未処分利益約3,860万円が発生したので全額資本金に繰り入れた。

手話通訳

手話通訳・要約筆記が利用できるようになりました。

平成28年4月1日に施行された「障害者差別解消法」で、地方公共団体には障がい者に対する合理的配慮の提供が義務づけられており、議会でも「開かれた議会」を実現するために、本会議及び委員会で障がいのある方も健常者と同等に自由なく傍聴ができるよう「太子町議会手話通訳及び要約筆記実施要綱」を制定しました。詳しくは、ホームページまたは議会事務局までお問い合わせください。



ザ・討論

太子町子どものための教育・保育に関する利用者負担額等を定める条例の一部改正

平田孝義 議員

反対

今回の保育料改正は、特に若い層に対しての負担が大きくなる。国基準に追随する必要はない。

平成28年度一般会計決算

平田孝義 議員

反対

収入未済や不納欠損の抑制が図られていない。特命随意契約等で経費節減を図ること。

吉田正之 議員

反対

多額の不納欠損処理があった。その再発防止策の説明が不十分である。

平成28年度下水道事業特別会計決算

平田孝義 議員

反対

経費節減のための生污泥搬送だが、前処理場の老朽化で維持管理費用において財政負担が大きく、見直しが必要である。

平成29年9月定例会議決結果

賛否の分かれた議案等

議案賛成者は「○」、反対者は「×」とします。退席者は「退」、欠席者は「欠」とします。
森田眞一議員は議長のため表決権はありません。

議 案 名		賛 成	反 対	結 果	議員別賛否一覧															
					吉 田 正 之	長 谷 川 正 信	玉 田 正 典	中 藪 清 志	堀 卓 史	藤 澤 元 之 介	福 井 輝 昭	平 田 孝 義	吉 田 日 出 夫	井 川 芳 昭	清 原 良 典	中 島 貞 次	井 村 淳 子	橋 本 恭 子	首 藤 佳 隆	森 田 眞 一
平成29年度 補正予算	下水道事業特別会計 補正予算(第1号)	13	2	可決	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	—
条 例	太子町子どものための 教育・保育に関する 利用者負担額等を 定める条例の一部を 改正する条例の制定	13	1	可決	○	○	○	○	○	○	○	×	○	欠	○	○	○	○	○	—
平成28年度 決算	一般会計歳入歳出決算	12	2	認定	×	○	○	○	○	○	○	×	○	欠	○	○	○	○	○	—
	墓園事業特別会計歳 入歳出決算	13	1	認定	×	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	—
	下水道事業特別会計 歳入歳出決算	13	1	認定	○	○	○	○	○	○	○	×	○	欠	○	○	○	○	○	—
同 意	太子町副町長の選任に つき同意を求めること	7	8	不同意	無記名投票															—
	教育委員会の委員の 任命につき同意を求 めること	12	3	同意	無記名投票															—

全員賛成で可決・認定・承認した議案等

議 案 名		その他	平成28年度兵庫県太子町水道事業会計剰余金の処分について
平成29年度補正予算(第2号)	一般会計補正予算(第2号)		訴えの提起について
国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	平成28年度決算	国民健康保険特別会計歳入歳出決算
介護保険特別会計補正予算(第1号)	介護保険特別会計補正予算(第1号)	平成28年度決算	介護保険特別会計歳入歳出決算
後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)		後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算
水道事業会計補正予算(第1号)	水道事業会計補正予算(第1号)		水道事業会計決算
条例	太子町介護保険条例の一部を改正する条例の制定	承認	功労者等の承認



長谷川 正信 議員

問

災害対策副本部長となる副町長が不在で大丈夫か

答

教育長と総務部長により混乱のないよう対応する

町長

肝に銘じて、有事のときは精一杯努める。

長谷川 災害発生時にトップに必要なのは、対応策においてリーダータイムも予算も与えられない中、延期、静観、中止は許されず人命と組織の存亡を懸け有事断然と決断と指揮命令を下すことだと私は考えるが。

長谷川 災害発生時に指揮命令をする立場の訓練・教育はしているのか。
総務部長 太子町防災訓練で、毎年災害対策本部を設置し指揮命令系統の教育を兼ね実施している。

これからの庁舎のあり方は



町長

利用促進に向けた広報に努めるとともに、早急に庁舎活用委員会等を立ち上げ、開かれた住民主役の施設に向け取り組みたい。

長谷川 庁舎がBCS賞を受賞し新聞等で大きく報道された。様々なコンセプトが盛り込まれたチャレンジ精神旺盛な空間が存在する庁舎であるが、今後の建設的な活用方法は。

※BCS賞...規模や種類に関わらず、使用から1年が経過した国内の優秀な建築作品に贈られる賞。



吉田 正之 議員

問

なぜ個人番号を書いて通知したのか

答

県の指導による

町長 議員の指摘通りだと思う。県に対してこのような意見があることを伝える。

吉田 送られてきた側は、非常に迷惑しているし必要のないもの。住民の迷惑より県の指導を優先するのか。

総務部長 法律に従い、また県の指導により記入した。消して送っている自治体は、県の指導に従っていない。

吉田 町県民税特別徴収税額書になぜ個人番号を書いて通知したのか。他市町では番号は消して送っているところもある。

徴税事務は誤りのないシステムで行われているか

吉田 他の市町で多額の課税誤りが発生しているが太子町は大丈夫か。

総務部長 入力誤りが無いか、再確認をしている。また、コンピュータシステムで各種控除の入力誤りが無いかわり、複数回チェックしており、打ち出し後も再度チェックをしている。

固定資産税では平成21年にすべて現地調査を行っている。その後は定期撮影している航空写真により家屋異動判読を行い適正に課税するよう努めている。



どないなっとな!?! どないするん?

質問者	質 問	掲載頁
平田 孝義	わがまちの防災は大丈夫なのか ・ やすらぎタクシーチケットの現実は ・ 公契約についてどのような考えか	P8
長谷川正信	危機管理体制について これから庁舎のあり方について	P9
吉田 正之	マイナンバーが特別徴収税額通知書から漏れる恐れがあるのでは 徴税事務の誤りが無いようにどのような対策が取られているか	P10
清原 良典	役場新庁舎の今後の運用について 町長が公約で掲げたゴミ収集運搬経費の削減は 町長等の倫理条例について	P11
玉田 正典	消防団の再編について 国土強靱化地域計画で災害に強い街づくりを	P12
中島 貞次	「読書通帳」導入で読書に親しむきっかけづくりを ご当地ナンバーで地域の活性化を	P11
井村 淳子	心のバリアフリー社会のために「ヘルプマーク」の周知啓発を 就学援助のランドセルや学用品費を入学前に支給するべきだ 年々気温が上がっている。夏場の教育環境、今のままでいいのか	P12
福井 輝昭	斑鳩寺公園の管理について どうする? 高齢者の買い物支援	P12

マークのあるテーマを掲載しています。その他のテーマ、全文は会議録をご覧ください。

問

我がまちの防災は大丈夫なのか

答

防災への備えを強化していきたい



平田 孝義 議員

平田 今全国で起きている異常気象、集中豪雨災害は太子町も例外ではない。①河川・裏山など安全チェックは②ハザードマップの見直しは③迅速で確実な情報伝達が可能で防災行政無線の整備は。

総務部長 ①警報発令前には河川・裏山のパトロール強化を行っている。②県による土砂災害特別警戒区域、大津茂川浸水想定区域が公表された後、見直す予定である。

町長 ③防災行政無線は災害時情報の伝達手段として有効であると認識している。整備が必要と思うところから前向きに検討していきたい。



台風18号で被害を受けた原池団地

※線状降水帯... 積乱雲が次々と発生し線状に列をなして通過し同じ場所に長時間の雨をもたらす。気温の変化で竜巻もおこる。播磨灘でも注意が必要。

経済建設部長 民間の会社所有の土地で、太陽光パネルへの日当たり確保、飛散防止のために会社が伐採している。所有者と土地の利用動向を相談しながら排水の実施設計を行っている。最終的に今ある排水施設と合流し、福井大池に流す計画だ。

平田 ヒナサイ山で急斜面の雑木伐採をしている。*線状降水帯という前線が発生したときに災害に結びつくのではと懸念しているが。



福井 輝昭 議員
増加が今後予想されるが、生鮮3品等を中心とした「近所のお店」構想は実現できないか。

問 「近所のお店」構想の考え方を尋ねる

答 難しいが総合的に考える

経済建設部長 コミュニティがとれ、地域活性化の観点からみるとよいと思うが、NPOや地域の団体が出資して行うという自発的な運営でないといけない。ただ、人口が累積していない市街化調整区域等では振込サービスなど行政機能も含めた地域の核となるようなコンビニや若い人たちが地域と交流を深めながら自立できるアンテナショップ等が出来るのが理想である。商工会等と連携しながら総合的に考えていきたい。

斑鳩寺公園の管理はどうなっているのか

福井 斑鳩寺公園の草刈りやトイレの照明等の管理の在り方を見直すべきだと考えるが。

経済建設部長 草の伸び具合に注意しながら適切な管理に努める。また、トイレの照明は、人感センサー付照明器具の取り付けやLED化を中長期的な計画の中で考えていく。



斑鳩寺公園

一年前のあの答弁

1年前の定例会での一般質問が、その後どのように反映されたかを追跡！

子育てのお手伝い「ファミリー・サポート・センター」の設置を望む

＊ファミリー・サポート・センター事業・・・
1歳から小学校6年生までの子どもを一時的に預かって欲しい保護者（依頼会員）と子どもの預かり等の援助を行いたい人（提供会員）の相互援助活動に関する連絡、調整を行う事業。



子育てファミリーサポートがスタート

その後

平成29年度実施に向け、実施要項制定の準備をしている

①委託の検討 ②広報、ホームページへの掲載 ③依頼会員は児童施設等での周知を検討 ④提供会員は自治会、老人会等の組織を通じた募集を検討 ⑤先進市町の育成方法を参考にし、研修による育成を検討

平成29年度より太子町社会福祉協議会に委託し、ファミリー・サポート・センターを開設
平成29年6月より提供会員向け講習会を実施し、8月より依頼会員を募集している。10月より子育て援助活動を開始。

◆議員定数等調査特別委員会◆

調査項目を明確化

7月27日

協議内容

▼議員定数は、議員選挙に及ぼす影響が大きく、概ね平成30年6月定例会までに議長へ報告書を提出する。

▼本特別委員会は原則非公開とする。議事録は公開とするも審査内容によっては、ケースバイケースで対応し、委員長判断により都度決定する制限公開制を採用する。

太子町議会だより

No.184 平成29年10月25日号

▼調査研究要望の確認として①議員定数の地方自治法上の取り扱い
②地方分権及び行財政改革の進展に対する議会機能の充実の必要性
③人口減少及び少子高齢化に対する対応について3点の確認とその考察をすることが必要
なため、調査研究の具

体的内容の方向性とする
ことを確認した。

8月25日

協議内容

▼議会は町民の信託を受けた議事機関として、これまで以上に公正性、論理性及び透明性を確保しながら、その責務を果たしていかなければならない。これらの点を含め、今後さらに審査・協議していくことを確認した。

▼調査研究項目を明確化するために問題意識として削減イメージだけでなく発言せず「議会の仕事とは何か」「調査研究の最終目標「議員定数・報酬はどうあるべきか」を議論する必要があることを認識した。

◆総務常任委員会◆

防災力の強化

7月13日

課題調査

●主な質疑応答

問 各自主防災組織には、連絡網の体系図はあるのか。

答 各自治会には体系図はある。

問 毎年各自主防災組織の防災訓練について活動報告書が提出されているが指導等は実施しているのか。

答 報告書のデータベース的整理はしていないので指導等には至っていない。

問 消防署が実施する出前講座と情報交換はできているのか。

答 簡単な報告はある

一年前のあの答弁

1年前の定例会での一般質問が、その後どのように反映されたかを追跡！

子育てのお手伝い「ファミリー・サポート・センター」の設置を望む

＊ファミリー・サポート・センター事業・・・
1歳から小学校6年生までの子どもを一時的に預かって欲しい保護者（依頼会員）と子どもの預かり等の援助を行いたい人（提供会員）の相互援助活動に関する連絡、調整を行う事業。



子育てファミリーサポートがスタート

その後

平成29年度実施に向け、実施要項制定の準備をしている

①委託の検討 ②広報、ホームページへの掲載 ③依頼会員は児童施設等での周知を検討 ④提供会員は自治会、老人会等の組織を通じた募集を検討 ⑤先進市町の育成方法を参考にし、研修による育成を検討

平成29年度より太子町社会福祉協議会に委託し、ファミリー・サポート・センターを開設
平成29年6月より提供会員向け講習会を実施し、8月より依頼会員を募集している。10月より子育て援助活動を開始。

在り方等について、質疑を行った。

8月10日

課題調査

庁舎内（庁舎敷地を含む）における防災関連設備の視察等を行った。

【視察場所】

- ・災害対策室（行政棟3階）
- ・非常電源装置（西側車庫屋上）
- ・備蓄倉庫（北側車庫2階）
- ・雨水貯留槽
- ・仮設トイレ用マンホール

●主な質疑応答

問 地区別防災力ルテの作成予定は。

答 今後改正時期に検討する。

答 設置基準はなく、また、設置しなければならぬという決まりもない。



備蓄倉庫（北側車庫2階）

問 ハード面は充実しているが、ソフト面での訓練はどうするか。

答 町の防災訓練や防災講演会、自主防災組織との協力等を行い強化していく。

・その他台風5号（8月9日）とまちづくりの集いについて報告があった。

◆福祉文教常任委員会◆

町立墓園（太子メモリアルパーク）のあり方について

7月12日

課題調査

町立墓園（太子メモリアルパーク）の現地視察を行い、現状と課題を調査した。

●主な質疑応答

問 町としての墓園の在り方についての考え方は。

答 納骨堂を希望する等、祭祀の考え方が変化しつつあり、墓所返還が増えているが、使用者を確保するために広報活動に力を入れたい。

所管事務調査

新学校給食センターの今後の整備方針について質疑応答を行った。

所管事務調査

9月5日

付託案件審査

高齢者買い物支援事業（モデル実施）について、当局より説明を受け質疑応答を行った。

●主な質疑応答

問 モデル実施地区と選定理由は。

答 高齢化率が高く約700m圏内にスーパーがない広坂・鼓ヶ原・糸井池・糸井池田の4地区で実施をする。

太子町子どものための教育・保育に関する利用者負担額等を定める条例の一部を改正する条例

●主な質疑応答

問 自治体独自で保育料の無償化の取り組みをしているところが増えていることを踏まえた町の考え方は。

答 財政面のこともあり全体を一律に無償化というのは非常に難しいが、国等の動向を注視しながら考えたい。

太子町介護保険条例の一部を改正する条例

●主な質疑応答

問 現在太子町には該当者はいないとのことだが、今後の見通しは。

答 刑事施設収容者の高齢化により、将来該当者が出てくるのではと推測している。

平成28年度兵庫県太子町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定

●主な質疑応答

問 保険給付費増の理由は。

答 1人当たりの医療費が前年比9,627円増の35万9,968円で、受診件数も増えているため。

平成28年度兵庫県太子町墓園事業特別会計歳入歳出決算の認定

●主な質疑応答

問 お墓離れの影響で申し込みは減少傾向の中、管理料が増えているが。

答 清掃委託料の一部を見直しするなど、健全経営を図っている。

平成28年度介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計について慎重に審査した。

課題調査

行政視察先である加古川市日光山墓園への質問事項について、各委員より提出されたものを予め正副委員長で調整し、その内容について委員会で確認をした。

◆経済建設常任委員会◆

町の産業政策のあり方について

7月11日

課題調査

最終目標を「町の産業活性化への具体的取り組みについて」とし、実態調査を行うことに決定した。

8月8日

課題調査

前回決定した調査内容をさらに絞り、「太子町内の商工中小零細業者の活性化について」という項目を具体的に調査する内容に決定した。

9月6日

課題調査

稲美町への行政視察について今後、稲美町と調整を行うことにした。

付託案件審査

特別会計決算の認定2件について審査を行った。

平成28年度下水道事業特別会計決算

●主な質疑応答

問 雨水整備事業計画の予算は、どういう案を考えているのか。

答 5〜6案の計画案があるが、それぞれ長所短所があり、精査中である。

問 前処理場経費削減の代替案として、生汚泥の搬出に期待したが、効果が見られないが。

答 先行投資で経費がかかっているが、あ



前処理場生汚泥引き抜き作業

まま施設を維持していた場合10億円以上の経費が予想されたため、間違った判断ではなく問題解決に向けて話し合いを進めている。

性に欠けるのではないかと不信をもっている。

平成28年度下水道事業会計決算

●主な質疑応答

問 無効水量が前年度より下がった理由は。

答 前年度は寒気により町内各所で給水管の破裂が相次ぎ、漏水が多かったが、28年度は破裂事故が相次ぐような冷え込みがなかったため、大きく無効水量が減った。

問 水道管の更新は、何年位を目途にするのか。

答 水道管は耐用年数の40年を目途に更新を考えている。

審査の結果、全員賛成で認定し、本会議に報告した。

◆広報広聴常任委員会◆

住民に寄り添う広報誌に

議会広報研究会に参加し、議会広報の役割や住民目線の広報作りについて学んだ。

8月2日

甲南女子大学文学部講師の中野景介氏を招き、基調講演の後クリニックが行われた。

講演の内容や批評で、議会広報は記録ではなく読み物である、住民の知りたい・聞きたいを届ける、委員会の思いや議会側の意見を載せるなどご教示いただいた。

議会は「難しいことをしている」のではなく「暮らしの中にある」ということを伝えていきたいと心得た。

議会広報研究会とは

兵庫県下の12町で組



広報研究会

組織する兵庫県町議会連合会が主催し、住民と議会との関係づくりを目的に、毎年講師による講演の後、議会広報クリニックと題して批評を受ける。

県の議会広報コンクールで優秀な広報誌は全国のコングレールに出展する。

平成29年度の県の優秀賞は多可町で、他に特別賞2本と努力賞があり、太子町は平成26年度に努力賞を受賞している。

太子町! あれこれピックアップ♪

恵みあふるる太子町♪

詩人 安田 青風氏 せいふう

町政25周年を記念して町民憲章とともに町歌・町花・町木が制定されました。今から41年前の1976年の事です。3月26日の町議会で可決され、4月1日に行われた記念式典の席上で発表されました。

作詞者の安田青風は吉福に生まれ、関西歌壇の重鎮とたたえられ、鷺城新聞では三木露風、有本芳水らとともに文壇に投稿し、近代播磨文学史に輝かしい足跡を残した人物です。

太子町歌

作 詞 安田 青風
作・編曲 名取 吾朗

一 北と東に山を負い明るき瀬戸の潮風に
ひらく町なみ陽に映えて恵みあふるる太子町

二 遠き聖の里どころ心もまろく結ばれて
明日にかける虹の橋香りゆかしき太子町

三 老も若きも眉あげて進むわれらの心意気
伸びゆく里に光あれ息吹く我等の太子町



安田 青風

明治28年3月8日生(1895～1983)

大正～昭和時代の歌人。明治28年(1895年)に生まれる。服部嘉香(よしか)にまなび、「詩歌」をへて昭和2年(1927年)に「水甕(みずがめ)」に入社。石井直三郎、尾上柴舟(おのえ-さいしゅう)に師事。昭和21年(1946年)に長男の安田章生(あやお)と「白珠(しらたま)」を創刊、主宰。歌集に「春鳥」「立岡山」などがある。享年87歳。

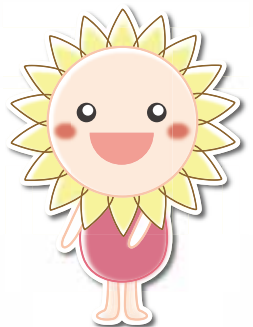
12月定例会予定

- ・11月27日(月)【第1日／提案説明】
- ・11月28日(火)【第2日／一般質問】
- ・12月 4日(月)【第3日／議案質疑】
- ・12月18日(月)【第4日／討論・採決】

議会傍聴に お越しく下さい!

◆お知らせ

12月定例会の予定は、左記のとおりですが、変更する場合がありますので、正式日程はホームページまたは議会事務局までお問い合わせ下さい。



あなたの「声」を
お聴かせください

議会だよりを読んでのご感想など
お聴かせください。

お問い合わせは 太子町議会事務局 まで

編集
広報広聴常任委員会
委員長 堀 卓史
副委員長 吉田 日出夫
委員 井村 淳子
中島 貞次
清原 良典

編集後記
暑かった夏も過ぎ、やっと過ぎやすい季節になりました。
読書の秋、スポーツの秋、食欲の秋：皆さんはどの秋を堪能されていますか？
しかし、何をしても元気が一番です。まもなく寒い冬がやってきますが、風邪など引かれませんか？
(井村 記)